

# 混ざりあうカタチ

2023年2月19日(日)~

# 陽盛1展

4月16日(日)

開館時間：午前9時30分~午後5時

休館日：毎週月曜日、3月22日(水)

【観覧料】一般 1000(800)円  
大学生・高校生 800(640)円  
中学生・小学生 600(480)円 ( )内は20名以上の団体割引料金

◎身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者(1名)は無料。  
◎宇都宮市在学または在住の高校生以下は無料。宮っ子の響いカードまたは学生証をご提示ください。  
◎毎月第3日曜日(2月19日、3月19日、4月16日)は「家庭の日」です。高校生以下の方を含むご家族が来館された場合、企画展観覧料が一般・大学生は半額、高校生以下は無料となります。  
◎4月1日(土)「市民の日」は、宇都宮市民は観覧無料です。こ来館の際は住所が確認できる身分証明書をご提示ください。

主催：宇都宮美術館  
助成：公益財団法人花王芸術・科学財団  
企画協力：株式会社キュレイターズ

同時開催

宇都宮美術館開館25周年記念  
二つの教会をめぐる石の物語

# 陽咸二展

本展は、大正から昭和初期にかけて活躍した彫刻家陽咸二（1898—1935）の全貌を明らかにするはじめての大回顧展になります。



降誕の釈迦 1929年 宇都宮美術館

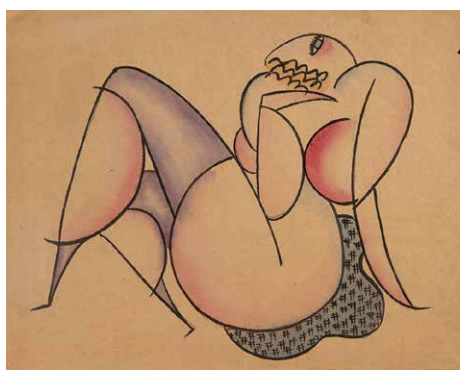
陽は小学校卒業後、牙彫や篆刻の職人として修業したのち、島田墨仙に日本画を学び、ほどなく彫刻家小倉右一郎の門下生になったのを機に、本格的に彫刻の道に進みました。帝展や東台彫塑会への出品を重ねながら、徐々に頭角をあらわしていきましたが、とくに、1927（昭和2）年から参加した彫刻団体「構造社」では主要メンバーとして活動し、「彫刻の社会化」を目指した同社の理念を象徴するような作品を精力的に発表しました。

かれの芸術の特徴の一つは、ひとりの作家の手によるものとは思えないほどの多様な作風です。絵画、版画、工芸、表紙絵など手がけた分野も幅広く、様式も具象や抽象、簡素なタッチから細密描写にいたるまで多様で、モチーフやテーマも和洋を問わず人物、風景、説話などさまざまです。

いまひとつの特徴としては、一つの作品のなかで異なる要素を並べたり、重ねたりしながら、これまでにない新たなイメージを生み出した点です。たとえば、代表作の《降誕の釈迦》では、釈迦と摩耶夫人を西洋の〈聖母子像〉のフォーマットを借りて表現し、話題を集めました。

陽は生花、釣魚、麻雀など数多くの趣味に興じましたが、とくに蒐集趣味においては、希代の趣味人三田平凡寺が立ちあげた「我楽他宗」に参加しています。同宗では「横臥山夜歡寺（おうがさんやかんじ）」と名乗り、蒐集対象を「支那趣味一切」とさだめ、社会的地位、性別、国籍など関係なく、さまざまな人々と交歓しました。作品制作あるいは交友関係において陽は、まさに異（他）が入り混じる状況を積極的に生み出し、楽しんでいるかのようです。

本展は5つのキーワードを手がかりに、陽咸二の独特な芸術世界を逍遙していきます。



女 1927年 個人蔵



或る休職將軍の顔 1929年 東京国立近代美術館



扉 1930年 個人蔵

## 講演会

### 「陽咸二の「いき」の構造」

3月5日(日) 午後2時～4時（開場は1時30分）

講師：濱崎礼二氏 [宮城県美術館副館長]

会場：美術館講義室

定員：150名（先着順）\*企画展チケットをお求めください。

## ワークショップ

陽咸二の作品をモチーフにした張り子をつくります。

### 「はりこでようかんじ」

3月18日(土) 午後2時～4時

3月19日(日) 午前11時～午後1時 | 午後2時～4時

講師：にしこはりこ氏 [張り子作家]

会場：美術館中央ホール

参加費：50円（保険代）

事前申込制（各回定員：10名）

申込締切：2月28日(火)

申込方法：ハガキまたはファックスにて、参加希望回および氏名（複数参加の場合は全員）・住所・電話番号・参加人数を記入し、下記の宛先までお申込みください。定員を超えた場合は抽選。当落に関わらず、結果は美術館からご連絡を差し上げます。\*申込締切日までは、美術館受付にて直接お申込みいただけます。

〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 1077 番地 / Fax. 028-643-0895

「宇都宮美術館 陽咸二展 ワークショップ係」

埼玉県生まれ。武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒。ゆれる技法を用いた作品を中心に、ユーモラスに表現した張り子作品を制作している。



## 担当学芸員による見どころガイド

3月11日(土) | 3月25日(土) | 4月8日(土)

午後2時～（開場は1時30分）

会場：美術館講義室（先着150名）

\*企画展チケットをお求めのうえ、講義室にお集まりください。

## 宇都宮美術館

〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 1077 番地

Tel. 028-643-0100

HP: <http://u-moa.jp> Twitter: @utsunomiya\_moa

本展および関連イベントについては、新型コロナウイルス感染症の防止対策のために、中止もしくは延期など変更になる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限等の措置を講じることがあります。最新の状況は、当館のホームページなどを通じて、随時お知らせします。

## 〔栃木県立美術館のご案内〕

「二つの栃木」の架け橋 小口一郎展 足尾鉬毒事件を描く

2023年1月21日(土)～3月26日(日)

\*詳細は栃木県立美術館へお問い合わせください。Tel. 028-621-3566

混ざりあがりカタチ

2023年2月19日(日)～4月16日(日)